



レコード針 生産再生 兵庫・新温泉町

アナログレコードの人气が再燃する中、交換用のレコード針を製造している日本精機宝石工業（兵庫県新温泉町）では、需要の急増に合わせて6人の従業員がフル生産でレコード針を作っている＝写真。

日本レコード協会によると、アナログレコードの生産量は昨年には66万2000枚に上り、2014年と比べて65%増となった。

同社では1873年に縫い針の製造を開始し、技術を生かして1966年にレコード針の製造を始めた。国内でも数社しか残っていないレコード針の製造会社として、交換用の針を「JICO（ジコー）」というブランド名で生産している。

ここ数年、手軽な価格のレコードプレーヤーの発売などが相次ぎ、レコードのファン層が広がって出荷量が復活した。レコード針製造部門の社員を以前より増やし、15年度は約17万本の出荷を見込んでいる。

【小関勉、写真も】